

外部評価委員会における指摘事項および改善策

施設名：宮城県七ツ森希望の家

〔外部評価委員会開催日：令和7年1月30日〕

【 保養事業 】

	外部評価委員からの指摘事項	サービス向上に向けた改善策等
1	◎内部評価でA評価の点や自己評価一覧表にガバナンス、コンプライアンスが網羅されている点は素晴らしいと思います。評価に表れていない建物・設備の老朽化やPRについて、どう向き合っていくかが今後の課題になると思います。	建物・設備の老朽化については、引き続き小まめな点検と異常の早期発見、早期対応に努めます。 施設のPRについては、県内各地への周知と特に黒川地区や仙台圏を中心に訪問レクリエーションを行い、日帰り利用、宿泊利用に繋げていけるよう努めます。今後も職員と意見を出し合い、サービス向上に努めます。

【 短期入所・日中一時支援事業 】

	外部評価委員からの指摘事項	サービス向上に向けた改善策等
1	◎「障害の種類やリスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制やマニュアルが整備され、職員および利用者・家族等に周知している。」について、不十分という意見があるため、伝え方の工夫、見える化、単純化、シンプルな伝え方が必要になると思います。	現在整備されている管理体制やマニュアルを再度全職員へ周知します。また、家族等へは、契約時(短期入所、日中一時)、更新時(日中一時)、入退所時に伝えています。そして、利用者には、家族や相談支援事業所からの周知を図っていますが、管理体制やマニュアルが文字ばかりであるため、不十分になるおそれがあります。よって、写真やイラストを用いた伝え方の工夫をしていきます。

【 総評 】～外部評価委員～

〈 仲野谷様 〉 昨年伝えたことにしっかりと取り組み、お客様の声も汲み取っていました。加えて、職員より意見をいただく機会を設け、いただいた職員の声を大切にしたいです。そして、建物・設備の老朽化をどう補うのか、利用率をどう向上させるか等の課題に取り組んでいけると、もう一歩先に進めると思います。
